

(別紙5)

補助事業番号 25-1-109  
補助事業名 平成25年度 検診車の整備 補助事業  
補助事業者名 公益財団法人兵庫県健康財団

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

福祉対応型の胸部X線デジタル検診車を整備することにより、高齢者施設などで車いすやストレッチャーを使用している方にも検診の受診機会が提供できることから、結核等胸部疾患を早期に発見し、県民の公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。

### (2) 実施内容

#### ◆福祉対応型胸部X線デジタル検診車

(URL : <http://www.kenkozaidan.or.jp/shindan/keirinoshirase.html>)



◆昇降用リフト



2 予想される事業実施効果

- ・ 昇降用リフトを使用することで、車いすやストレッチャーの状態で検診車内に入ることができる。
- ・ X線管装置と受像部を旋回するアームの両端に取り付けたユニバーサルスタンドを搭載することで、受診者が立位、臥位、座位のいずれの姿勢でも撮影でき、無理な姿勢を強いることが無くなる。
- ・ デジタル式の撮影装置を導入することで、撮影したその場でX線画像を確認でき再撮影の発生を抑制し、また前回受診時のX線画像との比較を容易に行うことができる。

### 3 印刷物等

本事業に係る印刷物等

◆ 当財団機関誌「プレベ 75号 平成26年3月発行」12項に掲載

(URL : <http://www.kenkozaidan.or.jp/kikanshi/kikanshi.html>)

## 臓器移植の普及啓発に取り組んでいます

### いのちの勉強会

毎年10月の臓器移植推進月間に、将来看護師等を目指す学生を中心とした県民を対象に、移植医療の現状を広く知っていただくために、いのちの勉強会を開催しています。

今年は、心臓移植を海外で受けられた患者様とレシピエントコーディネーターの講演を中心に開催しました。

**レシピエントコーディネーターより**  
移植でしが助からない患者を多く見てきた中で、運よくドナー（提供者）が現れ、現在元気に社会復帰できている患者からのメッセージを代弁。  
移植医療が多くの人に理解されるには、まず家族など身近な人と、生死について話し合う機会をつくるのが大切。

**患者様より**  
日本で長期待機のために、海外に行かなければ移植できない現状は大変だった。また、誰かが亡くならないと移植ができないということを手術後改めて考えた。  
臓器提供意思表示について考えた一日となりました。

**会場から**  
将来医療に携わる自分たちは、どのような接し方をしたらいいのだろう。

### 意思表示から始まる命の絆

臓器提供の意思表示は、健康保険証・運転免許証、臓器提供意思表示カード、インターネット(<http://www.jotnw.or.jp>)等でできます。



平成26年2月27日、公財「JKA」より平成25年度就労公益資金の補助を受けた福祉対応型胸部X線検診車（すのき6号）が完成し、納車されました。

**福祉対応型胸部X線検診車が完成しました。**

り、今でも20歳と全国平均の17歳より高くありません。当財団では、結核予防会（本部東京）が行う複十字シール運動資金の兵庫県窓口団体として同運動に協力しているほか、兵庫県内の結核制圧のために、個人募金を中心とした財団独自募金を実施しています。皆様のご支援をお願いいたします。

**あなたの募金で結核のない世界を!**



(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人兵庫県健康財団  
(コウエキザイダンホウジンヒョウゴケンケンコウザイダン)

住 所： 〒652-0032  
神戸市兵庫区荒田町2丁目1番12号

代 表 者： 理事長 後藤 武 (リジチョウ ゴトウ タケシ)

担 当 部 署： 総務部財務課 (ソウムブザイムカ)

担 当 者 名： 課長補佐 井之上 健 (イノウエ ツヨシ)

電 話 番 号： 078-579-1300

F A X： 078-579-1400

U R L： <http://www.kenkozaidan.or.jp/>